

国際教養大

# 模擬授業に興味津々

## 高校生ら対象にツアー

来年四月開学予定の国際教養大学に関心のある高校生や保護者らを対象とした「キャンパスツアー」が三十一日、雄和町の同大学予定地（旧ミネソタ州立大秋田校）で行われた。県内外から約四百七十人が参加し、模擬授業などで大学の雰囲気味わった。県の同大学設置準備事務局の主催。

参加した高校生たちは、事務局の職員から入学後、一年間の海外留学の義務付け▽教員の半数以上が外国人▽授業を英語で実施—などの特色について説明を受けた後、八つのクラスに分かれて模擬授業を受けた。模擬授業は、同大学採用予定の外国人教員らが英語で行い、高校生たちは、ハンバーガー店での注文の仕方など実践的な英語表現を学んだ。

続いて、中嶋領雄学長が「国際社会で本当に力を持つ人を養成したい。一緒に将来を切り開こう」と呼び掛けた。また、寺田典城知事が「この大学に入り、世界に発信してほしい。世界で通用する人材育成ができれば、県民と国民の利益になる」と強調した。ツアーに参加した鎌田美樹さん（横手高二年）は「模擬授業は、明るくリラックスできる雰囲気だった。この大学で学びたい思いが強くなった」と話していた。

この日の参加者は、同事務局が想定した予定人員（二百人）の約二・

四倍。寺田知事は「県民が関心を持ってくれている結果だと思う」と話した。県は四月二十八日に、同大学の設置認可を文部科学省に申請済み。十一月中にも認可される見通しと見られる。



外国人講師の授業に耳を傾ける高校生  
雄和町の旧ミネソタ州立大学秋田校